

避難支援7か条 (ともににげよう)



と とりあえず、自分や家族の安全確保

自分や家族の安全を確保した上で支援することが大前提です。
十分な支援ができなくても責任を感じることはありません。

も もう危険がないか、外を確認して支援開始

あわてて飛び出さず、しっかり周囲を確認しましょう。

に 二次被害にあわないよう、近所の方と協力して

高齢の方や障がいのある方などは地域の人みんなで守る気持ちが大切です。

に 逃げる前に情報収集

行動を起こす前の情報収集が命を救うことにつながります。
災害の状況にあわせた行動がとれるよう、迅速、的確に情報収集しましょう。

げ 元気な声で、避難の声かけ

第一歩は要援護者への避難呼びかけから。

よ 要援護者に尋ねながら、安全・迅速に避難

要援護者とのコミュニケーションを大切に、相手の身になって避難誘導しましょう。

っ うまく避難するには、日頃からの つき合いと心構え

みんな一緒に助かるためには、日頃からの隣近所のおつき合いと
災害に関心を持つことが何よりも大切です。

問い合わせ先

熊本県健康福祉部 健康福祉政策課 福祉のまちづくり室
TEL 096-333-2202 FAX 096-384-9870

発行者：熊本県
所属：健康福祉政策課
発行年度：平成25年度

災害時要援護者 避難支援ハンドブック

～災害時要援護者にやさしいまちづくりを～

早めの
避難行動

地域の
ネットワーク

的確な
情報収集

平時の
備え



このハンドブックは、となり近所で支えあって、
高齢者や障がいのある方などを災害から守るための、
地域の皆さんの避難支援活動の手引書です。

熊本県